

Gard Alert

タイ、すべての廃棄物輸入を一時停止

こちらは、英文記事「[Thailand suspends all waste import](#)」
(2018年7月6日付)の和訳です。

タイ関税当局によると、タイ国内に輸入されている廃棄物について不適切な申告がなされていたことが、このほど判明しました（リサイクル可能物と申告されていたものが、実際には廃棄物投棄目的で輸入されていました）。タイ警察当局によると、そうした廃棄物の受け取り側の多くが、リサイクル施設であると偽っていたことも明らかになりました。



Gardの現地コレスポンデントである Spica Services (S) Pte Ltd によると、すべての廃棄物（通常はリサイクルが許可されているものを含む）について、タイへの輸入が一時停止されるとの注意喚起がありました。Spicaの報告によれば、輸送中のコンテナもこれに含まれます。

背景

有害廃棄物の越境輸送は、タイにも適用されるバーゼル条約によって規律されています。同条約下では、特定種類の廃棄物を合法的にタイ国内に輸入することができます。通常、リサイクル可能な種類の廃棄物が該当しますが、低品質の廃棄物を処分目的で持ち込むことは許可されていません。タイにおいて、リサイクルは既にビジネスとして確立されており、様々な種類の廃棄物が問題なく輸入されています。

一時停止

大量の廃棄物について、貨物やコンテナすべてを確認することは難しいため、タイ当局はすべての廃棄物輸入を一時的に停止する決定を行いました。近い将来、（通常は合法の）貨物は、輸送中のものであっても、タイの港での荷揚げが許可されなくなる可能性があります。

当局が廃棄物輸入規制をいつ解除するかは不透明な状況です。荷揚げ作業が円滑に行えるように、メンバーの皆様におかれては、タイ到着前に現地代理店に連絡し、一時停止措置に関する最新の情報を入手するようにしてください。

この記事は、Spicaからの情報に基づいて作成したものです。追加の情報があり次第、最新情報をお届けします。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gardは本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されています。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。